巻頭言

(財)日本ハンドボール協会評議員
大阪ハンドボール協会理事長
東　嘉伸

ナショナルプレイヤーとして、御活躍の後、長くナショナルコーチを務められた。現在、JOCジュニアオリンピック大会の運営にも御尽力をなされている。

源流を育てて ハンドボールの明日を築こう

日本ハンドボール協会が創立60周年を数える記事に接し、還暦を迎えたオールドボーラーのハンドボールへの思いの一片を綴ってみた。

まず今年は最優先として日本で開催される男子ワールドカップを何としても成功させることである。これが起爆剤となり低迷気味の球界再建の刻になることを願っている。近年苦悩する全日本、黙々と耐える全日本のイメージが見え隠れしているようだが決してそうではない。否やそうであってはならない。「全日本」チームは日本ハンドボール協会の今日を支え、明日を築く希望の太陽である。彼等以外に日の丸を胸に戦うことが誰もできない。是非燃えるような明るさを前面に出し、戦ってほしい。

さて本論であるがこうした強化、普及の面からもまたハンドボールの明日を築く為に提言したい。それは①源流を育ててハンドボールの明日を築こう②地方協会を育てる施策が今こそ必至、の2点である。

実連、学連、高体連、中体連等々連盟依存型の日本協会を脱皮し、連盟の絶大なる協力の中で地方協会さらには小学生、中学生、一般社会人を束ね得る中枢である郡、市の協会連盟の育成に力をそそぐべきであろう。地方協会も残念ながら日本協会同様の連盟依存型であるようだ。熊本県や愛知県などハンドボール隆盛地域は源流を育成する施策をなされた成果であるに違いない。果して質実共に上昇気運と云い切れる地方協会が今日本中にどれ程存在するだろうか。

教職員連盟の国体リハーサル大会運営指導の大役の歴史も終了し、昨年その後を受けジャパンオープンハンドボールトーナメントが発足した。第2回大会は今夏神奈川県で行われるが、全日本総合選手権への出場枠を増し、日本協会指導型の内で地方協会を質実共に育て得る足がかりにできないだろうか。

地方協会の再建と源流を育てる施策は同時進行が可能なように思える。

大阪で4年前にスタートしたJOCジュニアオリンピックカップ・ハンドボール大会は、中体連全国9ブロック長がその枠をのり越えて努力された成果であるが、それにも増して蒲生晴明全日本前監督をはじめ、全日本男女スタッフ、日の丸選手らの情熱と指導によって育てられた大会ともいえる。

彼らに握手をしてもらい、アドバイスを受け感動、感激した少年たちが間違いなく夢を拡げているからだ。

還暦を迎えた日本ハンドボール。満員の体育館で試合をしよう!! 試合を観よう!! 大会を育てよう!!

協会だより

11月度常務理事会

日　時　10月26日(土)　10：30～17：00
場　所　日本青年館　会議室
出席者　中澤専務理事、常務理事6名、参事1名、事務局2名

1、ハンドボールの普及の現状について

平成8年度登録チーム数について過去のチーム数と対比した報告があった。また将来を担う中学校の登録に関して、中体連に協力を依頼し普及面での充実を図ることとした。

2、平成8年度読売新聞社制定スポーツ賞候補について

中村荷役チームを推薦

3、スーパーグローブ（第1回クラブ選手権）の参加について

今回は日本リーグ男子一部チームより派遣することとし、推薦チームは95年度日本リーグ成績ランクで順次打診し、大会日程を考慮して決定することとした。

次年度からは今回の大会内容を視察して参加チームの検討をすることとした。

4、平成8年度全日本総合選手権大会について

大会要項（案）について検討し、確認了承をした。

第50回大会及びジャパンオープントーナメントを日本協会がプロジェクトを組み大会内容を含め再検討していくことを了承

平成9年度全国大会開催地の責任者による会議を平成8年度中に開催することを了承。宮家のハンドボール観戦に、全日本総合及び日本リーグプレーオフをご案内することとした。

5、外国人選手の移籍について

外国人選手の移籍問題について経緯の報告がなされた。

今後の外国人選手採用の対応について、チームが移籍希望選手と交渉し、決定した報告を受けてIHF国際間移籍規則にしたがって日本協会が相手国協会へ移籍証明書の発行を請求する。

6、平成8年度第2回全国理事会について

人事選考委員会へ出席する理事について、協会の仕事、課題について状況報告できる人を代表とすることとした。

6～10月までの事業報告及び次年度事業計画の原案等報告することとした。

7、'97男子世界ハンドボール選手権大会関連について

日本協会関係役員のADカード発給の範囲について検討することとした。

機関誌記念特集号について広告協賛を求めていく提案があった。

PRプロモーションについて世界選手権資金の活用を依頼する提案があった。

8、平成8年度日本リーグ加盟オーナー会議について

オーナー会議について、分科会毎に協議し、その後全体会議で開会することで調整した。

9、'97男子世界選手権大会後の慈善試合について

熊本大会上位3チームに日本チームが参加しての大会について、会場及び観客動員について検討。

今後継続審議。

10、報告事項

第51回国民体育大会報告

学校体育普及促進のため、予算項目の変更をしたことが報告され了承された。

第3回医学ハンドボール国際学会の予算について報告があった。

日本スウェーデン国際試合についての開催報告。

東根氏ドイツ在外研修より帰国、強化委員会委員に承認。

第5回JOCジュニアオリンピック大会開催要項を配布。

日本リーグ委員会報告。日本リーグ日程変更報告。

村田弘氏平成8年秋の叙勲決定報告。

全日本総合でのIHF審判セレクションコース中止決定の報告。

11月度常務理事会②

日　時　11月16日(土)　9：30～11：30
場　所　日体協　504会議室
出席者　中澤専務理事、常務理事7名、参事1名、事務局2名

1、'97男子世界選手権後の慈善試合について

大会開催について事前に熊本と充分協議し、実施できるよう理解を求めることとし、了解を得てから次のステップをとることとした。

2、選考委員会への日本協会役員2名推薦について

役員選考人事委員会への日本協会役員2名の推薦について理事会に人事選考を一任依頼することとした。

3、特別登録金（強化充当を除く）の使途について

特別登録金を含め世界選手権財務状況について概略報告があった。

世界選手権熊本ガイド「日本協会編」について広告協賛の依頼。

特集号についてはスポーツイベントに依頼することとし、内容については両者で検討することで了解。

4、日本協会登録規程の改定について

外国人の移籍に関して協議、IHF協会間移籍規程にあわせて日本協会に委員会を設け問題点を審議し、外国人規程を作ることとした。

5、ハンドボールPRプロモーションについて

活動費見積額について承認。

6、平成10年度開催の全日本総合選手権大会の検討委員会人選について

同大会事業に関して検討委員会のメンバー編成について総務担当常務理事に一任。

7、その他

(財)大崎スポーツ財団による選手・ファン交流会開催について了承

世界選手権組み合わせ抽選会に常務理事の出席依頼とナショナル選手スタッフの出席要請があった。'97ジャパンカップを断念し、ヨーロッパ遠征を実施することを了承。

男女ジュニア全日本候補選手の選考報告

第40回教職員大会、マスターズ大会開催日程の報告

宮家の試合観戦について、プレーオフの意向であると報告

プレーオフの外国人レフェリー招聘について報告

平成8年度 第2回全国理事会

日　時　平成8年11月16日(土)
13：00～16：00

場　所　岸記念体育館　504会議室

出席者　中澤専務理事、常務理事9名、理事5名、参事7名、監事2名

1、'97男子世界選手権準備進捗状況について

①世界選手権組み合わせ抽選会開催について報告。

PRパンフレットについて各都道府県協会に配布することが報告された。熊本での準備状況は順調に進んでいることが報告された。フェスティバル大会について組み合わせ抽選会が終わってから本格的に案内を発送していくこと、各種研修会等も開催予定であることが報告された。続いて観戦協力依頼がなされた。

各委員会、各連盟諸会議等を世界選手権開催期間中に熊本で開催することの検討依頼がなされた。

電車の中吊り広告について報告。

100日前にも同様に実施予定。

スポーツiにて開催直前まで、コールデンタイムに国際試合の映像を使いPRを続けることを報告。

②選手強化の現状について、現在までの事業報告と今後のスケジュールについて報告。

学生選抜が第14回世界学生選手権に参加することを報告。第6回女子アジア選手権（世界選手権予選）が6月開催に変更になったことを報告。

③フレンドシップ'97について、現況報告と更なる協力依頼がなされた。

④'97男子世界選手権大会の財務課題について説明がなされた。

機関誌特集号について4月はじめに発行予定であることを報告。

各関係機関に購入依頼。

2、平成8年6月以降の主要事業ならびに課題について

各事業、全国大会に、共通理解を持つことの必要性から担当者会議を開催する意向であることを報告。

平成8年度C級コーチ養成講習会について報告。

世界選手権開催期間中に、コーチレフェリーシンポジュウムの開催を検討中であることを報告。

3、今後のジャパンオープントーナメントならびにクラブ大会について

クラブ大会については、底辺拡大につなげるため、リージョナルクラスのいかなるチームも参加できるフェスティバル的な大会にしていくことを報告。ジャパンオープントーナメントはチャンピオンシップを意図したチームの参加による大会であるとし、全日本総合につながる大会にする。

第2回大会に向け、参加資格、ブロック割り当て、都道府県、ブロック予選、参加申込方法について報告。

4、次期（平成9・10年度）日本協会役員の改選に関連して

専務理事の他1名を専務理事一任とすることとなった。監事1名をオブザーバー出席については調整する事となった。

5、日本協会登録規程の改定について

日本協会登録規程第8条外国人の登録について、国内規程も考慮して検討し、2月全国理事会に提案することとなった。

【報告・提案事項】

①理事会への代理出席について提案があり、検討することとなった。

インカレ、世界学生選手権選手団報告。

平成9年度第40回教職員ならびにマスターズ大会について報告。

中体連登録チーム数、及び平成9年度全国中学校大会要項について報告。

②'97世界選手権大会終了後の慈善試合について、実施する方向で了承。

③スーパーグローブ'97について、派遣チームに大崎電気を推薦することを報告。

④第51回広島国体の報告。

⑤第48回全日本総合選手権大会について、要項の説明と組み合わせ抽選会が終了したことを報告。大崎スポーツ財団による選手とファンの交流会について説明があり、参加依頼がなされた。

⑥日本リーグを男子1部はスウェーデン戦終了まで中断することを報告。

日本リーグ入りを希望するチームに対して、入れ替え戦を実施することを報告。

カレンダー製作を予定していることを報告。

⑦東西クラブチャンピオン戦について経過説明、西地区代表が不出場のため中止を決定。東地区チャンピオンを認定チャンピオンとすることを了承。

第48回全日本総合選手権大会総括

男子は中村荷役が二連覇を飾る
女子はオムロンが3年連続7回目の優勝

東京都ハンドボール協会　島田　房一

林(大同)選手のロング

第48回全日本総合ハンドボール選手権大会が東京千駄ケ谷の東京体育館で12月5日より8日まで開催された。

大会直前の日本リーグでの男子は湧永製薬・大同特殊鋼・中村荷役が上位を占めていたがトーナメントの戦いに優れている大崎電気やリーグ戦で中村荷役に勝っている日新製鋼、昨年度大学旋風を起こした大学代表である日本体育大学、前年度もベスト8に進出した香川選抜がどのように戦うか興味が持たれた。

女子は全くの混戦が予想され直前のリーグではイズミ・日立栃木・北国銀行が上位を占めているが、外国勢がチームに馴染んだ大崎電気やオムロン、毎年はつらつとしたプレーを展開してくれる東京女子体育大学にも上位のチャンスが考えられた。

男子の1回戦ではリーグの三陽商会が教職員代表の香川選抜に接戦の末敗れ、他は日本リーグ勢が

優勝した中村荷役チーム

順当勝した。2回戦は日本リーグ上位チームが実力を発揮し準決勝に進出した。準決勝の湧永製薬対大同特殊鋼は、試合終了直前5秒前に湧永のエース中山が執念のポストシュートを決め延長戦。延長も互いに譲らず、終了2分30秒前に大同のエース林のシュートが決勝点になり、大接戦を乗り切り6年連続の決勝進出を決めた。

一方中村荷役はデンソー・本田技研・大崎電気と日本リーグ推薦チームを撃ち破り3年連続の決勝進出を果たした。

決勝戦は前半立ち上がり大同ペースで進んだが、16分過ぎから大同のディフェンスに破綻が起き2回続けての警告と退場で終了前10分間で中村に7連続得点を許してしまった。

後半は全く互角の戦いで、大同にとっては悔やまれる10分間になってしまった。中村荷役は見事な二連覇を飾った。

三陽商会を破った香川選抜のキャプテン後藤選手のプレー

女子の1回戦では一部リーグの立山アルミが国民体育大会で優勝した二部リーグの大和銀行に不覚をとり、2回戦では東京女子体育

王(日立)選手のポストシュート

女子優勝のオムロン

大学が優勝候補の一角の北国銀行を大接戦の末破り9年ぶりのベスト4。

準決勝のオムロン対東京女子体育大学は前半は全く互角だったが、オムロンの激しい攻撃に東女体大のディフェンスが退場を誘発されオムロンの高橋・石に後半だけで8点を取られオムロンの3年連続の決勝進出となった。

一方日立栃木は、準決勝でリーグ戦好調のイズミを白の大活躍で破り8年ぶりの決勝進出となった。

決勝戦は、前半開始10分間は完全に日立ペースで進んだがオムロンGK王を中心としたディフェンスが冴え、オムロンは前半終了15分間で1点しか与えずペースを握った。

後半に入り両チームとも譲らず1点を争う好ゲームになったが、日立が得た7mスローを王の好キープで2本止め、オムロンが終了直前残り0秒で杉原の劇的なシュートで1点差で逃げ切った。オムロンは3年連続7回目の優勝。

今年の総合選手権は普段より約1週間以上早く、準備の期間が短く、参加チームには多大な迷惑をかけてしまいましたが、後援の㈱

オムロン対東京女子体育大学

読売新聞社、協賛の㈱アシックスその他の企業および㈶日本協会、参加チームのご協力で無事終了できたことを感謝いたします。

男子決勝

中村荷役 25（11—7 / 14—15）22 大同特殊鋼

開始早々大同が6番植木の速攻、10番末岡の7mスローで2—0とする。中村は攻めのリズムがかみ合わないスタートであったが、4分11番呉のロングシュートが決まる。このあと昨日に続き大同GK林、中村GK林田の好守が光り、得点が動かないが、大同の5番萩本の速攻で3—1とする。11分には大同4番冨本、8番藤井のポストプレーで5—2として、試合の主導権を握る。大同は堅い守りで中村の攻めを守り切る展開で、14分には冨本のカットインで7—4とする。ここで中村は呉、13番趙を高く上げたディフェンスで大同の攻めを守り、22分に7—7の同点に追いつく。

ここからさらに呉の速攻、9番高木のサイドシュートで9—7と一気に逆転。26分には中村の呉が退場し、大同にチャンスが訪れるが、攻めのタイミングが合わない。一方中村は得点を続け、前半を11—7で折り返す。前半終了までの16分間大同は無得点であった。後半2分大同は林のロングで先に点をとるも、中村・趙が決めて12—8とする。大同も4分に藤井の速攻、14番柴田の速攻で12—10と2点差に追い上げる。ここからは激しい点の取り合いとなるが、10分趙の7mスローで16—13、趙のロングで18—14と中村が主導権を握り続ける。大同も林のロング、速攻で18—16と粘りを見せるが、残り10分で19—17と差は縮まらない。ここで大同・冨本が退場の間に中村7番八尾のサイドシュート、呉の速攻で21—17。残り3分30秒中村趙の速攻で24—19とし、残り2分で大同林がラフプレーで退場となり、万事休す。前半のリードを活かした中村が25—22で逃げ切った。

MVP中村・趙の9得点の活躍と、高い位置で守るディフェンスの堅さが光った。

〔中村荷役〕得点	氏名	〔大同〕氏名	得点
0	林田	秋吉	0
4	木浪	佐藤	0
0	西村	冨本	2
1	天間	萩本	3
0	朴	植木	1
1	泉	藤井	5
3	八尾	林(珍)	6
0	斉藤	末岡	1
2	高木	米倉	0
5	呉	林(康)	0
9	趙	清水	0
0	細川	柴田	4
25	計		22

女子決勝

オムロン 17（9—8 / 8—8）16 日立栃木

開始2分間両チームとも固さは見られないが、ミスの連発のところ日立栃木が7mスローを得て15番沖土居が決めるが、すぐオムロンもキャプテン田中が決めて1—1。日立は昨日から好調の4番桐谷が決めて2—1と先行。続けて日立の7mスローのチャンスが訪れるが、オムロンGK王がセーブし、オムロンは波に乗りたいところだが、準決勝でイズミを押さえた日立栃木のディフェンスが冴え、10分には5—1と完全に日立ペース。13分、オムロンは3番田村のミドルシュートでやっと2点目。続けて7mスロー、20番石、ポストシュートで5—7とし、ここにきて王を中心として日立の好調な攻めを守る。前半残り10分、日立の初めての退場の時にオムロンは田村、田野で7—8と1点差に追い上げる。残り2分、ついに田中のシュートで8—8の同点とし、さらに残り1分、逆転となる7mスローで9—8。オムロンGK王のファインセーブが目立つ前半であった。

後半も3分間両チーム無得点のところ、オムロン石のミドルで10—8と2点リード。相変わらず日立はオムロンの堅い守りを攻めあぐむが、6分サイドシュートでやっと10—9。しかしオムロンもサイド、7mスローで12—9と再びペースに乗る。ここで日立も7mスローと速攻で11分1点差まで追い上げるが、オムロンも変則的なロングシュートで13—11、負けじと日立10番松本で13—12とシーソーゲームとなる。14分、オムロンの石のシュートで14—12と再び2点差。オムロンは昨日まで活躍した日立7番白を完全に押さえる激しいディフェンスを展開、日立も17分速攻で14—13とするが、速攻が出ないと苦しい展開となった。オムロンは石のロングで15—13。日立はオムロン退場の時に7mスローで15—14。残り7分日立白、残り5分日立の7MTもことごとくGK王がセーブ。この後両チームとも点を取り合い残り1分で16—16の同点。

残り30秒で日立は速攻からノーマークシュートを打つが、これをオムロンGK王がまたもファインセーブ。オムロンは残り1秒、2番サイド杉原が劇的なサヨナラシュート、17—16でオムロンが優勝を飾った。

〔オムロン〕得点	氏名	〔日立栃木〕氏名	得点
0	山口	藤井	0
2	杉原	伊佐野	4
5	田村	桐谷	1
2	田野	嶋野	0
0	加島	白	6
3	田中	高野	0
0	飯山	松本	1
0	川崎	中村	0
0	隅	中山	0
0	王	沖土居	3
0	林	今野	0
5	石	王	1
17	計		16

第39回全日本学生選手権大会

男子　大阪体育大学が3年ぶり6回目の優勝

女子　東京女子体育大学が4連覇

第39回全日本学生選手権大会は平成8年11月4日から10日まで、97年男子世界選手権大会記念大会として、熊本県立総合体育館、熊本市総合体育館を会場に開催された。大会は、優勝候補の一角とみられた、男子中央大学、女子筑波大学が敗退するなど波乱含みで展開された。

男子では、2回戦で東日本大会2位ではあるがけが人の続出で秋以降調子を落としている法政大学が中京大学に1点差で敗退、国士館大学は延長戦の大激戦の末福岡大学に敗退した。また、中央大学は元村、中川（ともに世界学生代表）を擁し優勝を狙える布陣ではあったが、京都産業大学に1点差で敗退した。

準決勝リーグに入り、第1ゾーン2日目、連覇を目差す名城大学と昨年の雪辱を期する大阪体育大学の激突があった。ゲームは前半14対10と名城大学のリードで昨年の勢いを思わせる展開となったが、終盤大阪体育大学の攻撃に屈した。続く3日目にも名城大学は筑波大学に破れ、昨年の旋風は起こせなかった。大阪体育大学は名城との激闘の疲れが出たのか中京大学とのゲームではあっさりと敗れた。しかし得失点差で決勝に駒を進めた。

第2ゾーンはまれにみる大激戦となった。インカレを狙う日体は、日体らしくない戦いを展開。2日目福岡大学に11点差の思わぬ大敗を喫した。しかし3日目には速攻が炸裂し、39対18の大差で京都産業大学を撃破し、福岡大学と早稲田大学の結果次第で決勝へ望をつないだ。福岡大・早大戦は早稲田が関東の意地を見せ29対23で勝ち取ったが、ここで25パーセントルールの適用となり得失点差＋3点で同点。総得点58対57の1点差で日体が決勝へと駒を進めた。この微妙な得点計算で終盤の攻防はワンプレー、ワンプレーが興味深いものとなった。

女子では1回戦で筑波大学が福岡教育大学に敗れるという大波乱が起きた。筑波大学としては秋のリーグを東京女子体育大学と1勝1敗とし充分に優勝を狙える位置にいただけに思わぬ敗戦であった。

準決勝リーグに入り第1ゾーンでは東京女子体育大学が危なげなく勝ち進み決勝へと駒を進めた。また、このゾーンでは日本体育大学が初めて今年の不調を象徴するようにベスト4の圏外から去った。第2ゾーンでは大阪体育大学が順調に決勝に駒を進めた。

なお、全日本学生選手権は次年度より現在の準決勝リーグ、順位戦の方式からトーナメント方式に変更される。

3年ぶり6回目の優勝を飾った大阪体育大

4連覇を成し遂げた東京女子体育大

《男子》

★予選トーナメント1回戦

東和大	31－21	国際武道大
日本大	20－14	桃山学院大
順天堂大	24－18	近畿大
中京大	27－19	仙台大
国士館大	34－11	愛知教育大
京都産業大	30－26	函館大
日本体育大	44－19	松山大
中部大	31－17	金沢工業大

★予選トーナメント2回戦

大阪体育大	31－18	東和大
筑波大	20－16	日本大
名城大	31－25	順天堂大
中京大	22－21	法政大
福岡大	25－21	国士館大
京都産業大	29－28	中央大
日本体育大	31－16	大阪経済大
早稲田大	28－21	中部大

★準決勝リーグ

大阪体育大	24－14	筑波大
名城大	24－19	中京大
福岡大	32－16	京都産業大
日本体育大	33－21	早稲田大
筑波大	22－21	中京大
大阪体育大	25－23	名城大
早稲田大	27－17	京都産業大
福岡大	34－25	日本体育大
筑波大	26－25	名城大
中京大	27－20	大阪体育大
日本体育大	27－17	京都産業大

大体大・竹下のロング（決勝戦より）

早稲田大　29—23　福岡大

★3位決定戦

福岡大　22（12—4 / 10—9）13　筑波大

★決勝

大体大　23（12—9 / 11—13）22　日体大

【戦評】両チームともゲーム開始より、スピーディーな展開となり、決勝戦にふさわしい試合となった。

前半なかばすぎ日体大一人退場のすきに、大体大は2点リード、前半終了間際にも日体大のミスを得点に結びつけ、12対9大体大3点リードで前半を折り返す。

後半に入ると日体大は佐々木らですぐに取り返し互角の戦いとなる。残り5分を切り大体大リード、大体大はポスト、サイドから日体大はロング、速攻で得点を重ねる白熱したゲームとなる。残り30秒、大体大1点リード、日体大ボールとなるが残り6秒日体大佐々木のシュートがゴールポストを外れ、大体大がそのまま歓喜の優勝を決めた。

《女子》

★予選トーナメント

東女体大　31—16　大阪教育大

福岡大　31—25　東北福祉大

日本体育大　21—15　中京大

武庫川女大　53—7　北海道女短大

福岡教育大　27—24　筑波大

茨城大　22—10　中京女大

日女体大　46—15　岡山県立大

大阪体育大　41—18　金沢大

★準決勝リーグ

東女体大　26—20　福岡大

武庫川女大　26—25　日本体育大

茨城大　30—21　福岡教育大

大阪体育大　25—20　日女体大

武庫川女大　29—21　福岡大

東女体大　29—14　日本体育大

大阪体育大　37—14　茨城大

日女体大　29—21　福岡教育大

日本体育大　31—22　福岡大

東女体大　24—18　武庫川女大

日女体大　27—17　茨城大

大阪体育大　37—26　福岡教育大

★3位決定戦

武女大　26（8—7 / 18—7）14　日女体大

★決勝

東女体大　22（11—10 / 11—9）19　大体大

【戦評】立ち上がり両チームとも固さが見られ再三のシュートチャンスをなかなか得点に結びつけることができず、一進一退の攻防が続いた。

東女体大は大体大の高いDFに苦戦、サイド、カットインから得点。一方の大体大は裕、橋本らが高い打点からのシュートで得点を重ね、前半は11対10の東女体大1点リードで終える。

後半に入ると東女体大はGK遠藤の好守から速攻を出し、セットでも梶田、児島らで得点。大体大は梶田にマンツーマンでつくが、広くなったDFを崩され徐々にリードを許す。終盤大体大もキャプテン池原を中心によく攻め3点差まで追いつくが、総合力に勝る東女体大が粘る大体大を振り切り優勝を飾った。

東女体大・児島のロング（決勝戦より）

1997 男子世界選手権大会・熊本

組分け、日程が決まる

1997男子世界選手権大会・熊本＝第15回男子世界選手権大会の予選リーグの組み分け抽選会が、12月6日12時より東京都内の東京プリンスホテルにて開かれた。

米倉功組織委員会会長の挨拶の後ＩＨＦからペーター・ミューレマター（ＣＯＣ委員長）、ルディプロック（会計局長）、フランク・ビルケフェルド（事務局長）らが立ち合いミューレマター氏の進行ですすめられた。

アディダスより大会用ボールを受け取った米倉会長

各国代表団

ドローには各国代表者はじめ渡邊実行委員長、日本ハンドボール界のＯＢ、熊本県福島知事、熊本市三角市長はじめ200余名の関係者が多数出席、初めてのビッグイベントのこともあり会場には何か張りつめた雰囲気がただよい全日本オルソン監督もいくぶん緊張感はかくせない様子。フランス大使は「楽しいイベントなのに何故みんな騒がないのか」という程だった。

まず第1シードの抽選、前回優勝国フランス大使より、用意された透明箱の中から引き、つづいて第2シード次回開催国エジプト大使、第3シードアトランタ優勝国クロアチア大使がひいた。第5グループは熊本県議会杉森議長、第6シードを熊本市議会荒木議長よりおこなわれた。最後に残った第4シードの抽選がおこなわれた。

開催国日本は規定によりグループを選択できることになっており、会場でスタッフと協議していたオルソン監督がゆっくり壇上にあがりミューレマター氏と握手を交わしたのち若干笑みをうかべながら「グループＡ」を選んだ。

会場は一気にどよめきと盛り上がりをみせ、そんな中オルソン監督がこの選択したことについて一気にマイクに向かって喋った。

「すべて強豪揃いだがこのグループなら第一目標の決勝トーナメントを可能なところを選んだ」といい切った。

笠原JOC副会長から残りの第4シード国がひかれ全てグループが決定した。このあとIHF、全日本オルソン監督の記者会見がおこなわれ抽選の感想、今後の抱負など語られた。また懇談会では熊本の物産品も披露されたり大会に向けて様々な話題がとび交う盛り上がりを見せた会となった。（木野　実）

抽選風景・左がフランス大使、右がミューレマター氏

左からビルケフェルド氏、ルデイブロック氏、ミューレマター氏

1997年男子世界選手権大会・熊本　組み分け表

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
第1シード	ユーゴスラビア	フランス	スペイン	ロシア
第2シード	アルジェリア	スウェーデン	チェコ	クロアチア
第3シード	サウジアラビア	ノルウェー	ポルトガル	ハンガリー
第4シード	日本	イタリア	チュニジア	キューバ
第5シード	アイスランド	アルゼンチン	エジプト	中国
第6シード	リトアニア／オーストラリア	韓国	アメリカ	モロッコ

※Aグループの第6シードはリトアニア対オーストラリアの勝者が入る。

1997年男子世界選手権大会・熊本(案)※時間は予定

日程表(5月17日～6月1日)

日時 / 会場	A		B		C		D	
	ドーム		熊本市総合体育館		山鹿市総合体育館		八代市総合体育館	
5月17日(土) 17:30	開会式							
	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名
5月17日(土)	19:30	アイスランド×日本						
5月18日(日)	15:00 17:00 19:00	サウジアラビア×リトアニア/オーストラリア ユーゴスラビア×日本 アルジェリア×アイスランド	15:00 17:00 19:00	フランス×イタリア ノルウェー×韓国 スウェーデン×アルゼンチン	15:00 17:00 19:00	ポルトガル×アメリカ チェコ×エジプト スペイン×チュニジア	15:00 17:00 19:00	ロシア×キューバ クロアチア×中国 ハンガリー×モロッコ
5月19日(月)	13:00 15:00	ユーゴスラビア×リトアニア/オーストラリア アルジェリア×サウジアラビア					13:00 15:00	中国×ロシア モロッコ×クロアチア
5月20日(火)			13:00 15:00	フランス×韓国 スウェーデン×ノルウェー	13:00 15:00	アメリカ×チェコ エジプト×スペイン		
5月21日(水)	19:00	日本×サウジアラビア	18:00 20:00	イタリア×ノルウェー アルゼンチン×フランス	18:00 20:00	チュニジア×ポルトガル スペイン×アメリカ	18:00 20:00	ロシア×モロッコ キューバ×ハンガリー
5月22日(木)	13:00 15:00	リトアニア/オーストラリア×アルジェリア アイスランド×ユーゴスラビア	13:00 15:00	アルゼンチン×イタリア 韓国×スウェーデン	13:00 15:00	エジプト×チュニジア チェコ×ポルトガル	13:00 15:00	中国×キューバ クロアチア×ハンガリー
5月23日(金)	休養日							
5月24日(土)	15:00 17:00 19:00	サウジアラビア×ユーゴスラビア アルジェリア×日本 リトアニア/オーストラリア×アイスランド	15:00 17:00 19:00	韓国×アルゼンチン ノルウェー×フランス スウェーデン×イタリア	15:00 17:00 19:00	アメリカ×エジプト チェコ×チュニジア ポルトガル×スペイン	15:00 17:00 19:00	モロッコ×中国 クロアチア×キューバ ハンガリー×ロシア
5月25日(日)	15:00 17:00 19:00	サウジアラビア×アイスランド 日本×リトアニア/オーストラリア ユーゴスラビア×アルジェリア	15:00 17:00 19:00	イタリア×韓国 ノルウェー×アルゼンチン フランス×スウェーデン	15:00 17:00 19:00	チュニジア×アメリカ ポルトガル×エジプト スペイン×チェコ	15:00 17:00 19:00	キューバ×モロッコ ハンガリー×中国 ロシア×クロアチア
5月26日(月)	休養日							
決勝トーナメント1回戦								
5月27日(火) 13:00 15:00 18:00 20:00	1)1A-4B 3)3B-2A 5)3A-2B 7)1B-4A				2)1C-4D 4)3D-2C 6)3C-2D 8)1D-4C			
5月28日(水)	休養日							
決勝トーナメント準々決勝								
5月29日(木) 18:00 20:00	9)W1-W6 11)W3-W8				10)W2-W5 12)W4-W7			
5～8位決定戦予備戦								
5月30日(金) 13:00 15:00	13)L10-L9 14)L11-L12							
5月31日(土) 16:00 18:00	15)W14-W13(5～6位決定戦) 17)W9-W10(準決勝)				16)L13-L14(7～8位決定戦) 18)W12-W11(準決勝)			
6月1日(日) 14:00 16:00	19)L18-L17(3位決定戦) 20)W17-W18(決勝)							
	閉会式							

熊本世界選手権大会だより

■東京で山手線中吊り広告を実施

10月29日（開催200日前）に東京、名古屋、大阪で駅貼り、東京山の手線の中吊り広告が実施された。

山手線中吊り広告

各方面から「見たよ」という電話が事務局にも多数かかり反響の大きさは大変なもの。キャッチコピーは「21世紀のスポーツ、ハンドボール」と、これからのスポーツであることを強調。モデルはヘアースタイルに特徴のあるフランスのリチャードソン選手とスウェーデンの南ちゃんことトルーソン選手。

大会100日前にも実施の予定。今回見逃した方は、次回是非とも御覧下さい。

アナウンス研修。右は岩本選手の妹さん

世界選手権大会入場券発売発売開始

入場券及び大会記念グッズの購入に関しましては、ご連絡いただければ担当から詳細につきましてご案内させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

熊本市手取本町８番３号
TEL 096-352-1997
FAX 096-352-1911
1997年男子世界ハンドボール選手権大会組織委員会熊本事務局
担当

詳細につきましては、次号に掲載いたします。

■世界選手権に向け準備着々、各種研修会すすむ

世界選手権の運営のための研修が、世界選手権記念大会としてのインカレにおいて実施されました。

決勝戦では、選手入場から世界選手権そのもの。試合の方も応援合戦もあり盛り上がりました。

行われた研修の主なものは、オフィシャル研修、アナウンス研修、コンピュータによる記録研修などでありました。

オフィシャル研修では、ベンチ反対側にいくつもの得点掲示板とタイマーが現れ、どれを見てよいのやら。

コンピュータによる記録の研修を担当するのは、地元熊本の大学のハンドボール部員の学生さん達で担当。今回はインカレとあって、大会運営員も兼ねての大忙しの中の研修で合ったが、サマーカップ、ジャパンカップと続けてきているためなかなか手慣れたものとなってきている。

一方アナウンスは女性の担当。しかし英語でのアナウンスは迫力満点。本番でもきっと試合を盛り上げてくれることでしょう。また、ここのセクションでは全日本岩本選手の妹さんも協力していました。兄弟そろって、是非とも世界選手権で頑張ってもらいたいものです。

フレンドシップ'97協賛名簿

フレンドシップ'97ご協賛ありがとうございます。

12月31日現在で467名のご協賛をいただいております。以下にお名前を掲載し、感謝を表します。なお、引き続き協賛者を募っていきたいと考えておりますので、皆様のお近くの方にも世界選手権大会の告知と、協賛を呼びかけていただくようお願いいたします。協賛いただいた方には以下の記念品が増呈されます。

1、'97男子世界ハンドボール選手権大会・熊本記念特製テレホンカード（2月完成予定）
2、世界選手権記念特集特別号（4月発行予定）

【北海道】
倉本 紘一　迫田 茂　岡田 豊夫　村瀬 清史　加藤 勉　松崎 雅芳　田中 勇　柏崎 久子　清水 勝　駒林 昭三　三栖 雅之　小越 康雄

【青森県】
太田 尚充　鳴海 満　川島 卯太郎　福士 義昭　渡辺 信行　滝口 太　諏訪 正徳　藤本 武　坪谷 雅幸　斎藤 浩　小川 清吉　久保 吉也　関本 和之

【岩手県】
佐藤 睦朗　大田 利彦　大澤 由和

【宮城県】
千田 文彦　加藤 正彰　東北福祉大ハンドボール部

【秋田県】
阿部 建　小山田 富彦　石塚 俊子

【山形県】
安孫子 功　五島 訓二　高橋 義浩

【福島県】
中島 寿美　関川 正道　今野 雅益　佐藤 雄次　宗形 守敏

【茨城県】
筑波大OG会　筑波大OB会　田中 汀子　小板橋 潤　北村 善夫　柏崎 茂　富田 拓　矢澤 達司　岡本 研二　大西 武三　麻生フェニックス　住尾 勉

【栃木県】
益子 房之助　大出 治男　岸 裕行　山下 勝司　高崎 弘　田澤 孝一　上野 喜美　小西 正寿　山岸 光子　中山 富夫　高橋 隆夫　細井 操　山下 勝俊　川田 雄三　伊藤 晋　武井 一浩　川又 克巳　住森 憲治　河先 修

【群馬県】
伊崎 克巳　内藤 静子

【埼玉県】
井田 一博　井上 素行　藤間 純子　木野 実　岡村 昭二　佐藤 美由紀　入江 直子　萩原 初江　塚田 咲枝　佐藤 道子　岡村 寿子　三浦 登志雄　佐々木 則子　高畠 和江　渡邉 直美　持田 マサ子　渡辺 叡子　松本 隆栄　杉本 友美子　勝沼 由季　土屋 勇太郎　高橋 衛　高橋 信子　玉田 和代　中村 恭子　中川 幸子　中野 ジュンコ　竹野 奉昭

【千葉県】
木内 兵太郎　木内 久美子　山上 修二郎　田村 幸雄　山本 伸二　内田 明克　氷海 正行　稲生 茂　松本 滋　仲田 稔　辻 祥雅　香取 秀紀　本間 誠章　上中 範子　河村 レイ子　清水 智功　五味 崇恵　河村 英明　植村 彰　柳田 睦子　三井 信　東根 明人　猪股 俊二

【東京都】
佐藤 佳子　江成 元伸　兼子 真　高橋 健夫　田島 悦子　高橋 英次　後藤 登　市原 則之　今井 敏之　岩本 任弘　大塚 文雄　萱原 恵子　栗岩 淳一　匿名　佐々木 博子　今井 昭子　福地 賢介　脇若 正二　荒木 茂徳　藤原 侑　飯塚 政子　中澤 重夫　佐藤 明美　滝口 三郎　小松 正武　中嶋 治美　羽田 裕一　門井 隆治　矢島 雅明　国立高校ハンドボール部　本多 正樹　佼成学園女子高ハンド部　齋藤 博　落合 由津子　佐野 和夫　駒大ハンドボールOG会　村野 静子　堀江 成典　碓井 裕史　永田 淳子　安藤 純光

【神奈川県】
真田 元　村松 英美　近久 紀人　松井 正敏　大城 和彦　神尾 陽子　川村 久子　山田 啓太　西本 千賀子　玉井 晴雄　澁谷 正道　新井 千鶴子　齋藤 達也　佐分 正典　村松 誠　植村 繁

【山梨県】
千野 恒夫　清水 正　上野 保　清水 剛　斎藤 実　栗原 富貴子　三枝 慶彦　窪田 善文

【長野県】
青木 崇　加藤 雅之　中澤 文子

【新潟県】

【富山県】
沢井 淳一　嶋田 重春　中川 周三　山口 吉弘　吉水 慎一　嶋田 新太郎

【石川県】
二口 昭夫　米谷 恒洋　荷川取 義浩　川端 孝一　牧 浩二　古橋 幹夫

【福井県】
越田 義昭　志々場 修二　藤井 善彦　竹野 誠司

【静岡県】
鈴木 義紀　片瀬 喜代次　田中 弘子

清水 保雄

【愛知県】
中島 正貴
宇津野 年一
早川 弘三
村木 啓作
角 紘昭
梅村 忠雄
早川 真澄
横地 宇吉
稲石 三二
新井 友彦
鳥居 晴久
浅野 克彦
栗脇 凝
矢野 哲二
小野 正雄
禰津 行雄
野田 清
柳川 清
藤中 憲二
花輪 博
柳川 実
中本 満明
蒲生 晴明
清崎 隆
林 浩司
佐藤 光夫
土川 一樹
中本 千和紀
名取 和成
森山 稔
富石 淳
田中 保彦
高村 誠一
内藤 浩樹
林 康一
林 珍錫
末岡 政広
佐藤 壮一郎
秋吉 哲男
植木 寿憲
濱野 健一
阿萬 隆文
藤井 孝志
酒勾 康二

米倉 巧
荻本 将勝
清水 博之
冨本 栄次
松本 光則
柴田 大介
日原 一幸
中谷 友和
南川 裕隆
金子 尚司
笹西 直大
和田 宏治

【三重県】
笹川ハンドボール少年団
栗本 士郎
田村 金子
田口 隆
鈴木 義男
石井 勝
山村 敏之
藤井 孝一
橋本 行弘
木下 憲司
高木 俊明
弥吉 圭一
丹羽 昭文
後藤 信幸
茅場 清
長谷川 貴洋
谷村 貴郎
加藤 圭介
笹浪 重俊
広政 宜孝
平松 茂雄
松原 晋哉
中里 賢二
四方 篤
日原 正和

【岐阜県】
斎藤 和義
福田 直行
森川 俊章
杉本 真一
大洞 五十七
上野 毅
加藤 隆広

今井田 康雄
上妻 忠夫

【滋賀県】

【京都府】
審 愛玲
吉田 博二
杉本 洋一
小西 博喜
藤本 昇

【大阪府】
東 嘉伸
服部 秀人
四方 洋子
森本 正毅
望月 伸三郎
緒方 嗣雄
小森園 多恵子
山中 善之祐
幸田 良一
塩川 正十郎
神田 清
井上 真也
戸田 栄一
村田 弘
花畑 平男
松尾 信一郎
北岡 大覚
家永 昌樹
久保 義雄
木田 武夫
岩佐 邦彦
繁田 順子

【兵庫県】
西澤 倫雄
殿水 幸雄
長 靖磨
大原 康昇
小島 正男
花房 保
岡田 茂夫
丸茂 康子
北山 隆
藤原 豊
村上 潔
浜田 浩嗣
泉 滋

【奈良県】
中川 敏文

【和歌山県】
笠中 喜次
尾高 義彦

【鳥取県】
松原 紀機

【島根県】
宇津 徹男

【岡山県】
藤井 俊朗
森安 昭雄
浅香 又彦
小嵐 昭子

【広島県】
峠野 光伸
浜本 忠志
坪根 敏宏
加川 厚
杉山 裕一
小沢 勝利
山口 修
松谷 丈裕
飯田 一郎
高田 浩志
中山 剛
田中 雅彦
多田 恵久
松本 暢
B・R・BRAMANIS
堀田 敬章
河原 隆雅
藤永 清
津川 昭
戸田 弘
藤本 政生
井藤 康忠
楢原 英雄
奥田 隆治
玉村 新次
長沢 健平
酒巻 純治
西元 清昭
槙岡 義男
山下 辰泉
不破 亨

草井 由博
スタンドレモン

【山口県】
白井 謙次
飯田 弘昌
岡井 幸由
青木 操

【香川県】
楠原 敏明
大谷 和彦
小早川 道孝
藤沢 秋義
佐藤 昌弘

【徳島県】
半田 忠史

【愛媛県】
越智 武
河平 武夫
野中 聡
伊藤 演哉
高橋 満年
毛利 尊志
長野 真太郎
大亀 裕
正岡 勝英
川田 哲也
竹村 久晴
松原 久士
松原 誠起
佐藤 実
山崎 幸夫
田中 達男

【高知県】
岡本 憲和
岡村 博三
清水 修
熊沢 徹郎
川崎 英雄
片岡 修一
高橋 良忠
青木 啓司
武田 末男
沢田 哲雄
有光 正憲
井上 敏
高橋 卓也

葛目 憲昭
佐賀 厚幸
谷脇 敦
成岡 真
南クラブ
高知南高男子ハンドボール部
高知南高女子ハンドボール部
岡豊高男子ハンドボール部
岡豊高女子ハンドボール部
小松 和久
宮崎 光一
高野 卓悦

【福岡県】
田中 守
松本 浩志
古賀 信男
稲積 茂紀
篠崎 省吾
森山 正治
中西 敬一
中川 英二
大場 正志
新荘 悌男
和佐野 健吾

【佐賀県】

【長崎県】
石井 道義
原田 国男
池田 寅勝
今村 豊嗣
海自佐世保地方隊

【熊本県】
熊本クラブ
村上 建二
高田 憲之

【大分県】

【宮崎県】
坂本 平

【鹿児島県】
井料 たか子
本田 娟一
蒲山 尚志

【沖縄県】
荷川取 孝志
新垣 健
嘉陽 宗陰

国際親善試合
全日本男子
報告

スウェーデン（アトランタ五輪銀）と引き分けの大善戦

変身しつつあるオルソン全日本男子

平成8年3月本格的にスータトしたオルソン全日本。

選手への意識改革（勝てる可能性ある、ハンドボールはコンタクトスポーツ、闘志を前面にだせ）を第一に挙げ、身長不足分は体力とウェイト（4.5kgふやせ）でカバーを、そして考えるハンドボールを常におこなえる大方針を掲げてきたが着実にしかも確実に浸透しつつある。

11月27日の名古屋第一戦、欧州からの長旅、遠征の疲れ等、悪いコンディションの中でどう闘うか興味がもたれたが、あふれる闘志と自信がプレーにみなぎって、アトランタ銀メダルチームを苦しめ、大金星を逃した。

左のエース岩本を欠いた全日本で攻撃力が心配されたが、富本、中山、茅場、魚住等のフローター陣が頑張り、ポスト藤井へパスもみられ、またサイドシュートも水谷、高木、末岡、辻らが巧技をみせた。

今までの全日本チームは比較的単発でのシュートが多かったがオルソン監督はパッシブプレーは逆に攻撃に粘りがでてきた証拠だと評価している。無駄打ちがなくなり「ボールは一つ」の気持ちが強くキープ力もでてきたことは世界の強豪にも立ち向かえる一歩とみたい、また一般の人は最近のいったりきたりのめまぐるしい攻防に慣れていて、一見つまらない慎重すぎるという見方もあるが、来年5月を見据えてのオルソン監督の指導の考え方でもある。

また、あまり見られなかったステップシュートを多用していることである、ある日本リーグ監督などは「うちのチームでもやらないこと」とその変りぶりにも驚いている、これによりプレーの巾もグーンと広がり相手防御へのプレスも大きくなってこよう。

世界の強豪のどこをみてもその場その場に応じてステップ、ジャンプを使い分けている現況、更に多くの選手がマスターする必要がある。

防御陣の真中4人は高さだけは欧州に負けないとオルソン監督も言っている、杉山（190cm）藤井（188cm）中山（190cm）山口（190cm）魚住（187cm）と190cm台が高さだけでなくアグレッシブな防御でスウェーデンにも立ち向かい成果を挙げている、オルソン監督は防御に岩本の復帰があればよりアップするとふんでいる、その岩本も今懸命のリハビリ中でこの間上半身もたくましくなり、早い復帰が待たれるが2月ごろからプレーができそう、また課題であったGKと防御のコンビネーションも確実にレベルアップ、守護神GK橋本の読みもさえている。

若手で闘志あふれるプレーをみせる小柄な泉、永山、辻、水谷、吉田らチーム全員がレギュラーの位置をねらっている。

オルソン監督、田口、酒巻両コーチらが適材適所の選手起用と指導が実りつつあり、熊本でのスウェーデンとの14－14の引き分けは選手、チーム共に大きな自信を得た。3ケ月余りにせまった本番を控え手応えを強く感じつつオルソン監督は次のステップへと挑戦しつづけている。

予選対戦チームも決まり3月からの欧州遠征で更にチームアップにも一層磨きがかかるだろう。

（広報担当：木野実）

全日本男子ハンドボールチーム試合成績

	TOTAL								
	EGY	POL	ISR	NED	TUR	SWE	SWE	SWE	TOTAL
高木	1/3	0/2		2/3		4/5			7/13
魚住	2/3	2/4	4/4		2/2		2/4	1/6	13/23
富本	2/5	0/2	0/3	7/9	—	2/4	1/2	1/3	13/28
水谷	3/3	0/1	4/5	0/3		1/2	0/1	2/2	10/17
中山	1/4	2/3	—	0/2	5/8	7/8	4/6	1/4	20/35
辻	—	1/1	0/2			—	2/2		3/ 5
末岡	4/7	2/2	0/1	—	1/1	1/1	2/2	—	10/14
永山		8/9	0/3		1/1	0/1	0/1	2/4	11/19
藤井	1/2	2/3	2/2	5/6	2/3	1/3	2/4	1/1	16/24
杉山	0/2	1/1	1/1						2/ 4
日中	3/3	—	0/1	0/3		1/1	—	0/1	4/ 9
茅場	0/1	2/4	1/3	4/7	9/12	4/6	2/3	5/7	28/43
山口		1/2	2/2						3/ 4

オランダ遠征・日本・スウェーデン親善試合

今回、全日本チームは、11月16日～25日までオランダ・ハーレムで開催されたオランダカップに出場した。参加国は、エジプト、イスラエル、ポーランド、トルコ、オランダ、そして日本の6ケ国で大会が行われ、日本は1分け4敗の成績であった。

全日本チームは11月26日に帰国するとすぐにスウェーデンを招待しての国際親善試合に臨み、名古屋（11月27日）、大阪（11月28日）、

熊本（11月30日）の3試合を行った。結果は1分け2敗であった。

以下に遠征及び国際親善試合の詳細について報告したい。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

《今回の目標》

1．個人技術の向上（Storong sideの向上）

2．最良の状態を創り出す（正しい知識・動作・位置どりの習得）～最良の状態を創り出すまで我慢してプレーする

3．イージーミスの削減

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

《成果》

今回のオランダ遠征・スウェーデン国際親善試合では前回のドイツ・フランス遠征に引き続き、6－0DFシフトをしき、セットDFでの失点は平均17・13点であり、十分に通用したと言える。（最小13点、最大20点）

GKのシュート阻止率も最終戦のスウェーデン戦では53．3％をあげ上昇傾向にある。何よりも一番大きな成果としては、オランダでの5試合に始まり、スウェーデンとの3試合まで体力的に互角に戦うことができ、闘争心・集中力の増大・持続に好影響を与えたと感じる。

オランダカップで冨本栄次（大同特殊鋼）選手がMVPを獲得した。

カットインをねらう冨本選手。DFはオラ・リンドグレン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

《今後の課題》

今回の目標として掲げた一つである〝イージーミスの削減〟については大きな波があり、達成したとは言えず、今後も継続して取り組んでいく。この問題をクリアするには基本プレーの見直しをしていく。（正しい動作の反復・正しい知識の習得）

体力的にはヨーロッパ勢と戦うためのスタート地点に立ったと考え、今後も徹底して向上を目指したトレーニングをしていきたい。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

《試合結果》

オランダカップ

日　本17（7－15　10－11）26エジプト

立ち上がりカットイン・ロング・ポストと連続失点を許し、その後2連続得点を挙げたものの、イージミスから速攻を許し、前半を7－15と大量にリードを奪われ折り返した。後半に入り、エジプトの動きの激しいアタックDFにも慣れ、GKを中心としたDF陣も踏ん張り、互角に戦うことができたが、前半のアヘッドが大きく、9点差の敗戦となった。

日　本21（13－10　8－12）22ポーランド

ポーランドにポストで先取点を奪われたものの、7mスローなど永

全日本男子選手名簿

役　職	氏　名	所　属	出身校	出身地
監　督	オレ　オルソン	日本協会		
コーチ	田口　隆	日本協会		
	酒巻　清治	湧永製薬		
指導普及	栗山　雅倫	筑波大学院		
ドクター	加藤　公	鈴鹿回生病院		
トレーナー	西山　圭介	熊本整形外科		
選　手	橋本　行弘	本田技研	—	愛知県
	四方　篤	本田技研	大体大	大阪府
	高木　浩司	中村荷役	日体大	兵庫県
	魚住　和彦	大崎電気	東海大	熊本県
	冨本　栄次	大同特殊鋼	日体大	神奈川
	水谷　和嘉	日新製鋼	名城大	三重県
	中山　剛	湧永製薬	福岡大	福岡県
	岩本　真典	三陽商会	早稲田大	熊本県
	辻　昇一	大崎電気	日体大	福島県
	末岡　政広	大同特殊鋼	福岡大	長崎県
	永山　強	大崎電気	順天堂大	埼玉県
	藤井　孝志	大同特殊鋼	筑波大	富山県
	杉山　裕一	湧永製薬	岐阜商業高	岐阜県
	田中　茂	三陽商会	筑波大	長崎県
	茅場　清	本田技研	日体大	茨城県
	山口　修	湧永製薬	大体大	兵庫県
	森本　彰宏	大崎電気	大体大	大阪府
	泉　光介	中村荷役	大体大	兵庫県
	佐々木教裕	日体大	—	神奈川
	吉田　聡	トヨタ車体	日体大	富山県
	井上　耕一	中村荷役	東海大	神奈川
	角谷　裕司	日新製鋼	天理大	大阪府
	土屋　幸司	大崎電気	大宮南高	埼玉県

日本スウェーデン戦で満員の観客（於・熊本）

山の3連続得点を含む5連続得点で5－2と立ち上がりリードを奪い、その後も相手OFを単発での得点に抑え、せめては課題であるイージーミスも1本とリズム良く、前半を13－10と3点リードで折り返す。後半に入り、ミスによりリズムを崩し、中盤に逆転を許したものの、残り30秒に同点に追いついた。しかし、タイムアップと同時にポストでの得点を許し、惜しくも1点差で敗れた。

日　本 14（8－10／6－11）21 イスラエル

この試合は中山・岩本の両フローターを欠く一戦となった。

立ち上がりから堅さが見られ、本来の動きとは違いスピーディーさを欠き、またそのためかリズムが悪く、コンビがとれず、ミスを多発して自滅した形となった。しかし、DFにおいては60分間激しい動きから執拗なチェックができ、GKの阻止率も上がった。

日　本 18（9－7／9－11）18 オランダ

この試合は地元オランダ戦ということもあり、レフェリーの微妙な判定に苦しんだ。前半からDF陣がこの大会最高の出来で、GK橋本もロング・ミドルシュートをことごとくセーブして盛り立てた。OFにおいてもチャンスを創り出すものの、後半、サイド・カットイン時のシュートが悪く、得点に結びつかず、課題として残った。

日　本 20（11－12／9－11）23 トルコ

前日のオランダ戦で負傷した富本を欠くメンバーでの戦いとなった。

エース中山がシュートを狙いつつ、DFのマークが厚くなると周りの選手にボールを配りチャンスを創り出した。その結果、対角の茅場のカットイン、藤井のポストでのシュート、7mスローを多く生んだ。DFでは連戦の疲れからか強引に中に入ってくるプレーに対してのマークが甘く、GK共々阻止率を上げることが出来なかった。

スウェーデン国際親善試合

日　本 21（9－9／12－14）23 スウェーデン

前半はシュート確率・ミスの発生率とも両チーム互角で、DFにおいても激しい当たり合いが続き、9－9の同点で折り返した。

後半に入り、前半は周りの選手にチャンスを与えていた中山が確率よくシュートを決め、日本リードで試合を進めたが、スウェーデンもポストを有効に使い追撃した。終盤、日本のDFがポストのマークを厚くしたところをロングシュートで得点を挙げられ、2点差で惜しくも敗れた。

日　本 15（7－11／8－11）22 スウェーデン

前半序盤は、日本の持ち味であるコートの横幅を十分に使ったスピーディーな動きからのカットイン・7mスローで互角に展開したが、中盤以降イージーミスで得点のチャンスを潰し、DFで前日同様踏ん張るものの、7－11で折り返す。後半に入り、中盤まで前半の立ち上がりのリズムを取り戻し、2点差まで追い上げた。しかしここで、痛い退場を取られ4連続失点をし、末岡の7mスローで得点するものの、終了間際にもカットインから失点し、7点差で敗れた。

日　本 14（9－7／5－7）14 スウェーデン

前2試合は、試合途中で集中力が切れる場面があったが、午前中のトレーニング・試合前のミーティングで、この一戦はすべての面において本大会に臨む気持ちで戦うことを確認しあった。技術的には依然としてミスも多く課題を残したが、精神的には戦う姿勢が今まで以上に表に出た。またGKに関しては橋本が阻止率53．3％という驚異的な数字を残すことが出来た。（報告・田口）

審判割り当ての再考を

企画・広報委員
早川　文司

明けましておめでとうございます。いよいよ世界選手権イヤー。日本の活躍を楽しみにしています。

ところで、ホームアンドアウェー制を採用して２度目の日本リーグもプレーオフを残すだけとなった。当初、いろいろと議論された制度もどうにか軌道に乗り、定着の兆が見えてきた。また、観客動員も各方面の尽力で上向き、ハンドボールファンの増加、関心も高まってきたように思う。

そうしたなか、日本リーグを見てどうしても気になることがある。以前にもこのコーナーろで触れたが、審判の割り当てである。試合はホームアンドアウェー制になったが、審判はあいまいで、時としてホームチームの地元の人が吹く場面に出くわす。そして時折「○○審判は地元有利」の声さえ耳にする。そんな声は信じたくないが、一部にそうした根強い意識があることも事実だろう。

審判とは、なんとも分の悪い役回りだ。良くて当たり前。少しのミス（人間だから時にはある）も許されないし、そんな時は必ず批判される。それはともかく、最初から疑惑の目で見られるのは、当人にとってはシャクの種に違いない。

そうしたことからも、ホームチームの地元の人が笛を吹くことは、色眼鏡で見られ「疑惑」を招きかねないのだ。いくら「中立」を叫んでもアウェーはもちろん、ホームチームからも苦情の一つくらいは言いたくなるジャッジは必ずあるはずだ。

こうした〝疑惑の目〞を排除するためにも「第三地域」の審判を人選し、割り当てることが必要であろう。確かに派遣費用とか、特にウイークデーの場合の人選など障害はあろう。とはいえ、そうした理由だけでいつまでも改革しないでいることによる弊害の方が大きいと思う。早急に取り組まなければならない重要な課題ではないだろうか。

たとえ好試合でも、審判のことで後味の悪さが残っては何にもならない。「いい試合だった」とスカッとした気分で試合会場を後にするためにも、日本リーグとして再考をお願いしたい。

新年早々、苦情のスタートとなって申し訳ございません。本年もよろしくご指導下さい。

列島縦断

宮崎県の巻

ハンドボールと人づくり

―県協会設立33年に想う―

宮崎県ハンドボール協会会長　坂本　平

宮崎県ハンドボール協会は、昭和39年に誕生し、現在33年目を迎えました。

その間、遅々たる歩みではありますが昭和54年には「日本のふるさと宮崎国体」また、平成4年には「夢きらめいて宮崎の空の下」のスローガンのもと全国高校総体を開催し組織の強化とハンドボールの普及、振興に努めて参りました。

協会設立当初ハンドボール競技の経験者は県内にわずか2名という現状の中で、協会としては、ハンドボールの普及、振興を図るためにはどうしたらよいかが最大の課題でありました。当時、本県では学校体育の中でハンドボールは教材として取扱われていない状況がありましたので、はじめに県教育委員会主催の学校体育実習講習会の中にハンドボールの講座開設を依頼し、県下の体育の先生方への普及、啓蒙を行いました。ハンドボールの特性「走、跳、投」は、全てのスポーツの基礎、基本であることを説き、少年スポーツとして気軽に取り組むことができ、しかも体力づくりには最適であることを強調して、理解を得ることにしました。最終的には学校体育の中でハンドボールを教材として取扱っていただくことをねらいとした訳であります。そんな普及講習会の積み重ねがあって本県のハンドボールは、高等学校から普及、振興の第一歩を踏み出したのです。

その後、高等学校に部活動としてハンドボール部が誕生し始めましたが、専門的な指導者は皆無といってもいい状況の中で部活動指導者の養成をどう図るか、即ち優れた指導者としての「人づくり」への挑戦が第二の課題でありました。

陸上競技やバレーボール競技等の他競技指導者をハンドボール指導者として転換させることは大変、困難な状況にありましたので協会では、指導者養成のための10ケ年計画を策定いたしました。それは高等学校においてハンドボールへの興味づけを行い、教育系大学への進学を促進し、専門的な技術と教師としての資質を身に付けて指導者として帰ってきて貰うことでした。この長期的な計画は辛抱と忍耐のいるものでしたが、年の積み重ねとともに徐々にその成果が現われ、若者が指導者として、或いは選手として帰ってきたことが、本県ハンドボール界に活気を与えることになりました。若いやる気のある指導者の誕生は、ハンドボールの普及、振興はもとより部活動の活性化につながることになりました。そして、徐々に高等学校のチーム数の増加につながり、新しく中学校にもチームが誕生するようになるとともに情熱をもった部活動指導者が段階的に競技力向上へ燃えていくのは当然のことでありました。

第三の課題は、本県ハンドボール競技力の向上をどう図っていくかでありました。競技力向上対策といえば、一般的には優れた選手の発掘、情熱のある指導者、遠征試合や合宿のための経済的援助等が良く言われておりますが、選手強化の基本理念は「見つけて、育て、生かす」ことにあると思います。優れた人材を発掘し、個性に磨きをかけ、将来に向かって生かしていくことは、指導者の力量にかかっていると思います。小、中、高の指導者が連携し、一貫した指導体制ができれば、そこに選手強化の道が開けるのではないかとその具現化に取り組んできました。しかし、選手の個々の問題、指導者間の問題、家庭的な問題等解決しなければならない複雑多岐にわたる問題があります。今まで小、中、高、一般と全国レベルの大会においては、2位、3位というのは、いくつかありましたが、今だかって頂点に立ったことは一度もありません。日本一のチームをいかに育てるかは、大変困難な課題であります。協会としては、監督、選手が十分活動できるような環境条件の整備を行い、そのための協力こそが役割であろうと現在、スポーツ少年団の育成、充実を図り、中学校、高等学校との連携を密にしながら、いつの日か日本一という夢を達成すべく競技力向上に取り組んでいるところであります。

ハンドボールの裾野を広げ底辺の拡大を図ることも、また、競技力の向上を図ることも大切なことで重要なことではありますが、協会の役割は、何と言っても「人づくり」が最も大切な事ではないかと思います。

スポーツの神髄は「人づくり」に在りと思います。ハンドボールの普及、振興も、競技力の向上も「人在りて」こそ進展するのではないかと思います。

本県協会は「人づくり」を目標にハンドボールを通して豊かな人間性と強靱な身体を培い、社会の良きリーダーとして21世紀を担う若人の育成を目指し、今後とも努めていきたいと思います。

私のチームづくり

女性による女子のチームづくり

大阪・四天王寺高校監督　繁田順子

男性社会のハンドボール界で女性指導者は数少ない。多感な青少年期の女子選手を女性同士という生理的武器を生かしながら、「私のチームづくり」にふれてみたい。

臭い仲？

女子選手は総じて男子に比べ、繊細な面が多く（と思えばある面では大胆不敵）、粘り強い一面を持っている。また大変なヤキモチ焼きで独占欲が強く、常に自分を見てほしい、気にかけてほしいといった感情が旺盛である。私はこうした女子選手一人一人の心理を巧みに利用することにしている。同性であるため、そういう場に居合わせる機会も多い。たとえば女子トイレ。試合前には選手達が必ず行く場所であり、男性立入禁止区域である。このトイレが以外と選手達の体調や心理状態をキャッチするのに絶好の場なのである。遠征では一緒に入浴することもあり、まさしく「裸のつきあい」ということになる。コートの中で大声を張り上げ叱咤激励をする傍ら、コート外での選手の一面も気に留める。

納豆のごとく

私は常に選手達にこう言う。「貴女達の努めは行為そのものにあるのであって、決してその結果にはない」と。そして、指導者の誰もがそうであるように、毎日の練習を積み重ね、チームメイトと心を一つにすることを続けることから苦境を越えるエネルギーが身につき、その力が喜びや楽しさを生むのだと。途中でやめれば何も残らない。勝負はゲタをはくまでわからない。ここでも女子の粘り強さが生きてくる。

念ずれば花開く

過去最多の女子選手を送り出したアトランタオリンピック。ハンドボールが置いてけぼりを喰ったのを感じ、みじめな思いをしたのは、私一人ではなかったはずである。バレーボールの全日本選手の名前は知っていても、ハンドボールは？　エッ！　誰？　大半の中・高校生はこう答えるであろう。ハンドボーラーでさえ――。やっぱりオリンピックは出場しなければ――。今回の女子選手のめざましい活躍ぶりは、私に多くのものを残してくれた。

指導者の条件

人づくり 心の育成が最も重要

静岡城北高校監督 望月 正

昭和25年、新卒で静岡城北高校に赴任以来、私は16年間監督を勤めた。当時は教職経験も浅く、ハンドボールについては全くの素人だった私だが、指導に当たり心がけてきた事柄を列挙してみたい。

○何のために部活をするのか、各自が十分に考える。その上で部としての確かな、そして長期的展望に立つ到達目標を設定する。

○初心を貫き通す決意を持つ。部員は三年周期で去っていくので、初心を継続させるのは監督の仕事である。結果を急がず、プロセスを大切にして、着実に実践してゆく系統性と計画性が必要とされる。

○基本的な生活習慣を確立する。プレーには必ず性格が現れるので、生活を正し、真摯な心を持たないと部活動に徹することはできない。

○学校教育活動の範疇を逸脱しない。学業優先はもとより、部員の勧誘、父兄などからの物質的援助、特別待遇を求めない。

○部員との信頼関係を何よりも大切にする。チーム力は、監督と部員の信頼度に正比例する。練習には万難を排して毎日出る。部員より早くコートに出て、部員の帰ったことを見届けて帰る。本人のいないところでは絶対に悪口を言わない。知ったかぶりをしない。

○常に求めて学ぶ心を持つ。特に他の競技から学ぶことが多くある。同一競技からだけでは立ち勝ることはできない。模倣ではなく本質を見抜く眼を持つことが大切である。

○基本的なことは十分な時間をかける。練習は単調な反復であるから、飽きることなく興味を持たせて持続させるために、練習内容を工夫する監督の不断の努力が不可欠である。単純なことを複雑に、複雑なことを単純に、結果を焦らず、できるまでやる。やれば、必ずできる。待つ心が必要である。

○教え過ぎない。試合中の苦境を救ってくれるのは、他から教えられたものではなく、自分が苦しんで体得したものであり、練習とは人工的に逆境を作ること。へばってからが本当の練習であり、監督の仕事はその環境を設定することである。

○単純なミスは絶対しない。試合は確率の戦い。高等技術は必要としないし、高校の3年間での習得は無理。単純なことを、正確にやることが大切である。

○チームプレーに徹する。勝手なことをさせない。勝てばよい、点が入ればよいというものではない。全員が納得できる意図的なプレーをする。基礎的なコンビネーションプレーに専念する。チームプレー重視により、心が育つ。

以上、これらのことは誰でも知っている当たり前のことばかりであるが、この当たり前のことを、どんな条件下でも、当たり前にやり通すことが、勝負の世界においても、人生においても最も重要なことではないか。平凡に徹することが、非凡に通ずる。チームづくりも、人づくり・心の育成が最も重要な課題である。

【主な戦績】
全日本高校選手権大会優勝3回
国民体育大会優勝2回
全日本総合選手権大会優勝2回

指導者の条件

念願の全国制覇を成し得て

福井商業高校女子ハンドボール部顧問　小林寛二

平成7年度、倉敷インターハイにおいて、念願でありました全国制覇を成し得ることができました。これまでご指導いただいた諸先輩をはじめ、関係各位の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、平成5年度、栃木インターハイでベスト8入りを果たし、次年度は、それ以上の成績を残すことをチームの約束として新チームはスタートしました。チームは順調に成長し、インターハイでは優勝候補の一角に挙げられるまでになりました。

ところが、インターハイ最終合宿にてエースの故障、挙げ句の果てにサイドマンの疲労骨折と、満身創痍の状態で大会を迎えることとなったのです。もはや全国の上位を狙うには厳しい状況となり、初戦敗退を覚悟で臨んだインターハイでした。ところが意に反して、生徒たちは素晴らしい闘志と迫力で次々と相手を倒し、決勝まで進む快進撃を見せてくれました。

結局、準優勝に終わったわけですが、信じられない底力を見せ付けられ、生徒たちを最後まで信頼できなかった自分を恥ずかしく思いました。

そして、平成7年4月、春の全国選抜大会。昨年の準優勝チーム7人の内4人が残っており、初の全国制覇を果たすには、最短距離にいると私自身思っていました。幸い、大会前のチーム状態は良く、向かうところ敵なしと胸を張って大会に臨みました。

1回戦快勝、素晴らしい戦いを見せてくれました。そして、次の相手の試合観戦をし思ったことは、自分たちの相手ではないだろうという、過信じみたものでした。やはり、そこに落とし穴があったのだと思います。「心のすき」「油断」という言葉を口に出さなかったけれど、チーム全員の胸の奥に潜んでいたのだと思います。リズムを崩されるとチームは分断され、組織は機能しなくなりました。焦れば焦るほど、深みにはまるといったところでした。結果は1点差で、2回戦敗退。悔し涙でインターハイ優勝を誓ったものでした。

そして、その悔しさをバネに平成8年度インターハイで念願の初優勝を成し遂げることができたのですが、ハンドボールは人間のやる業、ボールがやるのではなく、やはり人間の魂がそこにある生きものなんだとつくづく思い知らされました。ここ2、3年の間でいろいろな経験と勉強をさせてもらいましたが、私にとってこの二つの大会は本当に対照的な戦いであり、喜びと悔しさを味わった思い出多い大会でありました。そして、私自身をも大きく成長させてくれたゲームでもありました。

ビッグなゲーム、戦いの中で選手は伸びるとよく言われますが、指導者も全くそのとおりだと思います。本当に素晴らしい成績とともに、多くのことを勉強させてくれた選手たちに感謝したいと心から思うものです。

【戦績】

平成5年　栃木インターハイベスト8入り

平成6年　富山インターハイにて準優勝

平成7年　倉敷インターハイにて初優勝

医科学委員会からの報告

医科学委員会委員長　西山逸成

97年度男子世界選手権アジア順位決定戦に立会して

12月3～4日、タイ・バンコク市で行われた熊本世界選手権アジア順位決定戦にAHF（アジアハンドボル連盟）からの依頼で3人（クウェート、サウジアラビア、日本）のテクニカル・コミティーメンバの1人として立会した。1998年に行われるバンコクアジア大会開催国として、大会運営とこれを組織するタイ国ハンドボール協会としての試金石でもあった。

第1日目の出場資格決定戦の結果は、韓国29対13カタールで、韓国が世界選手権出場資格チームとして23番目に名乗りを上げた。12月4日第2戦は、すでに世界選手権出場資格取得ずみの中国とサウジアラビアの対戦であり、バンコクにおける親善・普及のゲームとしてとらえていた。試合結果は、サウジアラビアの20対18中国となり、試合前の下馬評を覆し、36度Cのあの暑さの体育館にもかかわらず、終始粘り強くボールをつなぎ続けたサウジアラビアがアジアの栄冠を得たことになる。

第1戦の韓国対カタールは、韓国の立ち上がりの15分間は確かに前回のアジア予選で中国に2点差で敗れたときの韓国チームとはまるっきり体質改善した新生韓国代表チームとは言え、みるからに慎重な攻めとシュートであった。エースの趙選手、スーパーシュートの趙選手の動きの硬さでカタール陣ベンチは活気づいていた。それに対して韓国チーム団長申吉洙（韓国ハンドボール協会常任第1副会長、圓光大学教授）とキム・チョン・ハー氏（前AHF副会長）とをメインスタンドでみるとき、その表情は東洋のエース・チームを預かる軍団の長の顔ではなかった。ようやく前半20分を過ぎる頃から持ち前の韓国チームらしさでカタールを大差でねじ伏せるばかりか、スタンドでアジア最高級のチームの奏でるハンドボールをとくと見学しようとして観戦中のタイ王国ナショナルチーム（体育大学生で編成2ケ月目）をうならせるに十分な最高度のハンドボールを展開したと言えよう。

我々AHF技術委員3名は、前日の監督会議から緊張し続けた。当日も夕刻18時からの試合に備えてミーティング（選手のチェック、前日のリストとスタートとの人名の照合をダブルチェック）、そして試合は100%の記録のための8ミリ撮影とパスポート、エントリー表による選手名簿の確認が私の主要な担当の部分となった。

2日目の中国対サウジアラビア戦は、熊本世界選手権への切符を持っているチーム同士だからとわれわれ技術委員3名は、前日よりも気を許して試合を楽な気持ちで管理・監督したが、俄然サウジアラビアが立ち上がりから火を吐き、終始1～3点のリードで中国チームを圧し、ゲーム終了後雀躍りしていたのに反して中国チーム役員の思わぬ敗戦に打ちひしがれていた様子は印象的だった。

タイ国ハンドボール協会の組織管理にみる協会運営や本大会の運営状況をみると、役員組織が何とか構成されており、大会実行委員会の構成員は、タイ王国体育協会（国立競技場内勤務）体育大学教授（国立競技場内）と政府組織内の人と聞いている。大会会場は、ホテルから徒歩3分の国立競技場（体育大学、サッカー場、陸上競技場、プール等）に隣接している体育館であった。しかし多用途利用であるので、コートの長さ不足でゴールポストの架台が床面からはみだした状態で実施せざるを得なかった。レフェリーはスペインペアで、1月に日本のプレーオフには来日予定だと聞いた。本部席はAHF（Technical committy）メンバーとタイ協会組織員2名のみであった。そのうちの1名はNAチーム監督、他の1名はNAコーチ、の立場であった。そして男子NAチームは王国体育大学の学生（バスケット選手を中心として）で2ケ月前に編成したチームであり、ハンドリングはよかった。女子コーチは、ドイツに6ケ月間ハンドボール留学したようである。監督は、「2年後のアジア大会までの2年間でチームづくりが間に合う訳がない、10年後がチームづくりの目標」と話していた。AHFの組織によるあらゆる面の協力が必要となろう。現状では、中国チームスタッフがかなり指導していた。もちろんアジア大会の新体育館は別に建設されると説明していた。

AHF テクニカルコミティーのメンバー

IHF/MC会議に参加して

1996年12月13日～15日、デンマーク・ハーニング市で行われたIHF（国際ハンドボール連盟）/MC（医事委員会）に招待出席した。新陣容で構成されて以来の初会議に出席した。目的の1つは、その内容は役員紹介、事業や要望、そして熊本世界選手権大会での医事調査、ドーピング、そして第3回国際会議に関する内容審議であった。その2つは、併行して実施されていた女子ヨーロッパ選手権大会（12月6日～15日）時に行われているドーピング現場への実務研修と併せて競技の観戦機会も得たもので、以下会議概況を報告する。

第1目的のIHF医事委員会では、「ドーピングコントロール」と、第3回スポーツ医学・ハンドボール国際会議に関する討議に直接発言を求められた。さらには各新委員からのIHF/MCに対する次の提案意見の拝聴であった。

Dr Gijes Lungevoort（オランダ）：年1回の委員会、運営方針と目的。

Dr Sverre Mehlum（ノルウェー）：各国研究者間のインターネット構成と運営。

Dr Hans HOFDHAUS（オーストリア）：レフェリーの体力水準とトレーニング・評価の研究。

Dr Francois Enamian（アフリカ）：アフリカ地区のドーピング・教育体制の整備。

Dr Petra Piaten（ドイツ）：女子選手のスポーツ傷害からみたトレーニングの改善事項。

Dr Mustatab AHMAD（パキスタン・兼務AHF／MC）：アジア地区のドーピングの体制づくり。世界選手権大会の調査研究。

毎年各1回のIHF医事委員会を1997年5月、於熊本、1998年5月於パキスタンに設定された。

IHF/MCミーティングから

これら委員6名中の4名が熊本世界選手権大会時のIHF派遣ドクターであり、他2名は第3回国際学会のゲストスピーカー及び発表者として来日する予定になっている。

会議参加の第2目的のドーピング実習では、ヨーロッパに定着しているドーピングの実態把握とともに実際にDr. Jiri Jeschke（ヨーロッパハンドボール連盟の医事責任者で前IHF／MC委員）による現地現場指導であった。したがって、Dr. Jiri Jeschkeとともに会場内Doping Contorore desk（大会本部席）に位置し、試合終了7分前にAチーム、5分前にBチームの各選手の抽選を実施し、ベンチから直接Station（D・C・S）への誘導、そして待機室における選手やチーム付きドクターのすっかりドーピングが定着している待機状況や採取後のサンプリングのコペンハーゲン検査所への輸送処置をしっかりと確認できた。DCSの勤務員はStation 長のドクター、臨床検査技師及びナースの女性3名とドーピング班長のDr. Jiri Jesche（先述）の4名編成で十分に流れている。コペンハーゲンの検査機関への輸送はドクターを含む別編成である。

ドーピングテストの対象人員は、IHFの規則どおり準決勝、決勝はもとより、順位決定戦は各チーム2名を対象としている。サンプリング容器は、アトランタ・オリンピックでお馴染みの黄・緑のIOC容器であった。

以上、3日間という短期間での駆け足スケジュールとはいえIHF／MC会議に参加しての多岐にわたる情報の交換、討議の内容及び今後継続検討するためのIHF、AHFとの連携の維持は日本協会としても多面にわたり有用に反映することと願って概況報告とする。

「第3回スポーツ医学・ハンドボール国際学会」について

〈経緯〉

女子世界選手権大会時に国際ハンドボール連盟医事委員会（IHF／MC）が、スポーツドクター、トレーナー及び指導者層に案内し、主としてハンドボール競技選手の発症しやすいスポーツ傷害の予防や治療について相互研修からスタートした学会で、すでに第1回（オスロ、1993年）、第2回（オーストリア、1995年）が行われ、日本からは第2回学会に坂本静男先生（スポーツ医科学委員、順天堂大学浦安病院）が参加され発表（ハンドボール選手のメディカルチェック・内科から見た特性について、坂本・西山）されている。実施経緯としては、昨年の学会総会席上で次回学会を男子世界選手権大会時に熊本市内で実施することが決定され、IHFのカレンダー（1997～2000年）で1997年5月28日から5月31日まで、男子世界選手権大会の決勝トーナメントの時期の実施が設定された。

〈学会実施要綱〉

1．日程

5月28日(水)　18：00～21：30
　受付、ウエルカムパーティ
29日(木)　09：00～17：45
　招待講演・発表
30日(金)　09：00～17：45
　発表・学会ディナー
31日(土)　08：30～15：00
　発表・閉会式

2．会場：熊本市国際交流会館

3．主催：国際ハンドボール連盟医事委員会・日本ハンドボール協会医事委員会

4．申込先：日本ハンドボール協会気付第3回スポーツ医学・ハンドボール国際会議実行委員会宛
〒150－50　渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館内
FAX　03－3481－2367　TEL　0429－28－6000
払い込み方法：現金を郵便書留で。あて名は申込先と同様。

5．参加料：3万円（学生1万5千円）

6．招待講演：世界のスポーツ医学（Sjung Hermans 博士）
(1)ハンドボールの才能発見（Hans Holdhaus 教授）
(2)ハンドボール選手の不安定肩関節症（Gijs Langevoort 博士）
(3)アキレス腱の負傷について（Per Renstem 教授）
(4)ACL再構築におけるLeeds－Keio靱帯の使用経験（藤川教授）
(5)ハンドボールの新しい波－規則の変更と新しい考えによって変わるエリートハンドボール選手の負担（Dietrich Späete 博士）
(6)女性のハンドボールについて（Patra Platen博士）
等が予定されている。

7．参加申込様式：
Card for Paper
発表者氏名：（共同研究者も記入して下さい）
所属：（勤務先）
住所（勤務先）：
演題名：
発表区分：口演、ポスター
発表要旨（抄録集）：A4判に英文で
宿泊希望：有　無
申し込み期限：平成9年2月15日
学会パーティー：参加者8000円(同伴者7000円)
学会パーティー・歓迎会参加者9000円
以上を記入のうえFAXでも結構です。

多くのハンドボール指導者各位の参加発表を期待します。

ハンドボール競技規則誌上講習会①

審判委員会ルール研究委員会

ハンドボーラーのみなさんのルールに関する疑問にお答えする誌上講習会を連載したいと思います。日本ハンドボール協会審判委員会究に質問をお寄せ下さい。

今回はゴールキーパーに関する質問です。

「Aチームの速攻のシュートをキャッツチしたゴールキーパーB1は、相手のゴールキーパーA12がゴールエリアを離れ、プレイングエリアにいたので、Aチームのゴール目がけてシュートした。これを見たA12は、ゴールに戻りながら、プレイングエリア上でジャンプし、空中でボールをキャッチし、自陣のゴールエリア内に降りた。どう判定されるか？」

正しい判定は、「プレイ続行」です。競技規則違反には該当しません。

ゴールキーパーが6mライン付近でジャンプし、空中でボールをキャッチしてから着地した状況は非常に複雑で、ちょっとした条件の違いで、判定が異なります。すべてのケースについて考えてみましょう。

この状況では次のように条件づけすることができます。

・踏み切った位置
A）ゴーネエリア
B）プレイングエリア

・着地した位置
A）ゴールエリア
b）6mラインをまたいで

・着地した後動いた位置
ア）ゴールエリア
イ）プレイングエリア

この条件にしたがって、検討してみましょう。

[図1、A、a、ア]

ゴールエリアにいたゴールキーパーがジャンプして、空中でボールをキャッチ、ゴールエリアに片足で着地（この時点ではプレイ続行、ゴールキーパーはゴールエリアにいると見なされる）、もう片方の足もゴールエリアに降ろせば、ゴールエリア内の移動となり、プ

図1

図2

プレイングエリア
ゴールエリア
6mライン

レイ続行です。

［図2、A、a、イ］

　ゴールエリアにいたゴールキーパーがジャンプして、空中でボールをキャッチ、ゴールエリアに片足で着地（この時点ではプレイ続行、ゴールキーパーはゴールエリアにいると見なされる）、もう片方の足をプレイングエリアに降ろした時には、ゴールキーパーのラインクロスで、相手のフリースローになります。

［図3、A、b、ア］

　ゴールエリアにいたゴールキーパーがジャンプして、空中でボールをキャッチ、6mラインをまたいで着地（この時点ではプレイ続行、ゴールキーパーはプレイングエリアにいると見なされる）、プレイングエリア側の足を動かした時には、ゴールエリアにボールを持ち込んだことになり、相手の7mスローになります。

［図4、A、b、イ］

　ゴールエリアにいたゴールキーパーがジャンプをして、空中でボールをキャッチ、6mラインをまたいで着地（この時点ではプレイ続行、ゴールキーパーはプレイングエリアにいると見なされる）、ゴールエリア側の足をプレイングエリアに動かした時には、プレイングエリア内の移動となり、プレー続行です。

図3

図4

プレイングエリア　ゴールエリア　6mライン

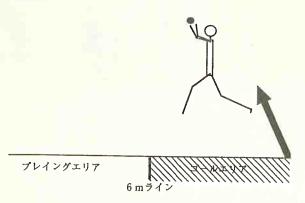
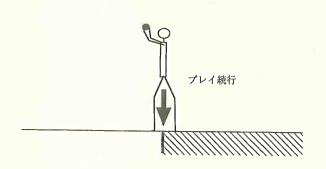
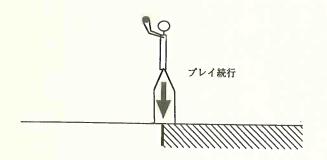
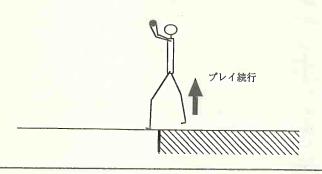
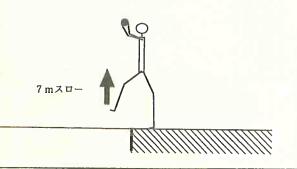
公式国際試合150試合を達成して

本田技研　橋本　行弘

公式国際試合150試合を達成して自分自身思うことは、まず怪我をしなかったことが一番良かったことではないでしょうか。

全日本の合宿に初参加して13年、オリンピック、世界選手権はもとより、オリンピック予選やアジア選手権、アジア大会、各国トーナメントに至るまで、途中メンバーから外れる事なく全日本でやってこれたのは怪我が無かった事が一番の理由です。

しかしこの怪我がなかった理由にも、いくつもの要因があります。

不可抗力的に発生する怪我は別として、怪我を発生させない要因のひとつに環境の理解があると思います。

公式国際試合150試合出場の表彰を受ける橋本選手

会社、ホームチームの理解、バックアップのないままの全日本活動への集中は考えにくいし、一年の3分の1は家を空ける訳ですから家族の理解はもちろんです。そういう部分に於ては、私は恵まれた環境でプレー出来ている事に感謝しています。

もうひとつの要因として上げるのなら、全日本でプレーする事が子供のころからの夢だったし、憧れでもあった事が、集中力を欠如させず、怪我を予防してくれている気がします。

全日本の活動というのは、ホームチームがオフシーズンに活動する事がほとんどなので、私にとっては一年中がインシーズンみたいなものです。そんなハードな生活の中でも、集中してプレー出来たのは、全日本チームへのあこがれ以外にありません。歴代の全日本の監督の方々も私にとっては魅力のある人ばかりでしたし、全日本をいつしか〝自分のチーム〟として考えられた事もすべてが良い方向へ進んだのではないでしょうか。

私は13年間で、150試合を達成出来た訳ですが、10年後、全日本チームが魅力あるチームで夢を追いかけ、与えられるチームであれば、その時は私の記録を越え、200試合、300試合出場という選手が必ず現れると思います。

前全日本監督の蒲生氏は〝全日本選手は有限だが、全日本チームは無限だ〟といいます。

全日本を日本一魅力あるチームにする。それには球界全体の押し上げるような熱い応援が必要です。

好評の選手・ファン交流会

平成8年12月7日、第48回全日本総合ハンドボール選手権大会第3日（男女準決勝）に選手とファンの交流会が開催された。

開催の趣旨は、関係者以外の一般のファンにもっと競技場に足を運んでもらい、ファン層の拡大と観客動員増の一助にしようというもの。

開催内容は

①ハンドボールについてのアンケート

当日の来場者に職業、住所、ハンドボールのキャリア、観戦動機、ひいきチームなどを質問。480人から解答を得た。現在分析検討中だが、観客の動向、率直な意見が直接得られたのが収穫で、今後の大会運営、観客動員に活用できると思う。

②選手、ファン交流コーナー

コート上を走り回る選手も、スタンドから見ているだけでは比較的遠い存在となりがちだ。そこで観客、ファンにフロア下りてきて選手とのスキンシップを密にしてもらうため交流コーナーを設置した。手形、サイン色紙のプレゼントが好評だった。

ハンドボール界では、選手のハンド(手)にファンは関心があるだろうと参加チームの全日本クラスの選手に色紙を予め渡し、朱肉で押した手形にサインをしてもらっていた。またポラロイドカメラで選手とファンを写したスナップ写真や記念写真も贈呈した。

当日の試合には①日立栃木－イズミ(女)②湧永製菓－大同特殊鋼(男)③オムロン－東京女体大(女)④中村荷役－大崎電気(男)の4試合。各試合終了後の20分のインタバルに、試合が終わったばかりの選手が来て色紙の配布、スナップ撮影を行った。

こうした催しが珍しいためか(初体験では?)第1試合終了直後は、交流コーナーに人が集まらず、選手の方にも恥ずかしさや戸惑いが見られた。しかし敗戦のショックにもめげず来場したイズミのメンバー、笑顔の日立栃木選手に、少しずつファンが近付き始め、結局次の選手紹介に食い込む盛況となった。

以後第2試合からは試合終了を待ち兼ねたようにファンが駆け寄り、特に第3試合の東京女体大は卒業記念の意味もあるのか、スナップにおしゃべりに大変な盛り上がりようだった。

1997年男子世界ハンドボール選手権コーナーも併催した。大会PRグッズ販売コーナーの応援マスコット「飛勇太」(の着ぐるみ)君も飛び入り参加。女性、子供ファン群がりスナップ撮影で大人気を博していた。

手形、サイン色紙も特に男子のものはすぐに無くなり、色紙に目を輝かせているファンが多かった。

このように交流会は初の試みとしては成功だったといえよう。

次回の開催に当たってはチーム、ファン双方の評価、本来の観客動員効果などにも取り組みたい。

激闘の後にもかかわらず参加して下さった選手各位、そして大会運営担当各位のご協力に感謝します。

（大崎企業スポーツ事業研究助成財団・横井博幸）

ファンとの交流会

ハンドボールとインターネット

出原　理
(E-mail:idehara@cap.bekkoame.or.jp)

■はじめに

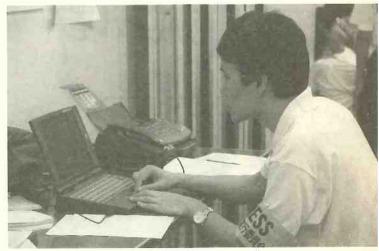
近年、インターネットがブームとなり、インターネットという言葉を日常生活の中で普通に聞くようになってきました。インターネットは、従来個人では入手困難であった情報を、容易に、迅速に、かつ安価に入手できるといった環境をもたらしました。このような情勢から、我々ハンドボールの世界でも、パソコン通信、インターネットを利用した情報発信が、昨年より行われています。読者の方も、機関誌やJHLニュースなどでその存在をご存じの方もおられるかと思いますが、実際にどのような情報が発信されているかご存じの方はまだまだ限られていることと思います。ここでは、「ハンドボールとインターネット」と題して、現在、パソコン通信とインターネットを通じて発信されている日本のハンドボールの情報と、世界各国からのハンドボールの情報についての紹介をしたいと思います。

■パソコン通信とインターネットでの情報発信

従来、一般のハンドボールファンがハンドボールの試合日程や結果などの情報を得ようとした場合、今までは、月刊誌からの情報が唯一のものだったと思います。このような情報では、タイムリーな情報以外は、いささか興味が薄くなることはしかたのないことだと思います。これに対して、パソコン通信やインターネットでの情報発信では、このような情報を即座に、しかも容易に入手でき、さらに簡

作業中の井原氏

表－1　NIFTY-Serve ハンドボールの会議室への接続方法：

①NIFTY-Serve に入会する；　②NIFTY-Serve にアクセスしたら、〝>〞というプロンプトから、GO FV BALL（半角で入力、OとFの間は半角でスペース）と入力して〝バレーボール・球技フォーラムに〞に入る；
③メインメニューから、3番目の〝電子会議室〞を選択。会議室が一覧されたら15番の〝ハンドボールの情報交換室〞か、16番の〝ハンドボールの記録ルーム〞を選択する。

表－2　国内のハンドボールサイト（ホームページ）の紹介

(1)日本ハンドボールリーグ
日本リーグの情報の他、入手可能な試合の結果と国内外のハンドボールサイトへのリンクが張られている。英語版も発信している
http://www.bekkoame.or.jp/~idehara/handball/jhl.htm

(2)ハンドボールコミュニケーションウェブ
社会人・大学・高校の試合結果や情報交換広場「CAFE　はーふたいむ」、書き込み可能な掲示板「電脳スコアブック」などがある。
http://www.bekkoame.or.jp/~khc/

(3)熊本世界選手権公式サーバ
10月1日より運用開始。熊本世界選手権の公式情報が入手可能。
http://handball.etnet.co.jp.index-j.html

(4)熊本世界選手権（ひゅーた倶楽部）
日本で最初のハンドボールのホームページ。公式サーバが立ち上がる前までは、こちらで世界選手権の情報を発信。これからは、「ひゅうた倶楽部」のホームページを受け待つ。
http://ths.ogawa.kumamoto.jp/handball/hand000.html

(5)HANDBALL STADIUM
全日本総合や東海学生リーグの情報等が掲載されている。
http://www.din.or.jp/~eriko/handball/index.htm

(6)ハンドボールのデータボックス
国内外の主要大会の過去の記録を取りまとめた「ハンドボールの記録博物館」。
日本のハンドボールの歴史が一目でわかる。
http://www.sun-inet.or.jp/~ina/

(7)大同ハンドボールクラブニュース
大同特殊鋼のハンドボールチームの情報。
http://www.daido.co.jp/friend/handball.htm

単に発信する側になれる環境が提供されます。もちろん、このような情報発信では、情報源がしっかりしていなければならないことは言うまでもありませんが、伝達経路が定まれば、情報の伝達、蓄積、利用といったことが容易に行えることになります。また、即時性、正確性といった利点も存在しますので当日行われた試合の結果がその日のうちに発信されるといったことも可能となり、現に日本リーグの試合結果などは、速報という形で、パソコン通信、インターネットを通じてその日のうちに発信されています。

さて、具体的な発信内容ですが、パソコン通信では"NIFTY-Serveにハンドボールの会議室（接続方法は表－1参照）があり、ここを拠点にハンドボールの情報交換をしています。ここで言う会議室とは、パソコン通信のメンバー相互の意見交換の場と考えていただければよいと思いますが、全国各地のメンバーにより、ハンドボールに関するあらゆる話題が活発に議論されています。この会議室のメンバーには、実際にプレーしている現役選手や審判の方、全国各地の試合を観戦するファンの方などもいて、様々な見方や意見を持つ人たちの情報が持ち込まれています。とにかく、ハンドボールが好きという人たちの集まりですので、入手できる情報は質、量ともかなりのものとなります。また、試合を見に行ったメンバーからは、観戦記なるものがアップされていますので、どのような試合内容だったかといった情報を入手することもできます。最近では、全国大会のほとんどの情報が入手できる他、各地学生リーグの情報も定期的に入手できる環境が整いつつあります。

一方、インターネットでの情報発信は、現在は、ホームページでの発信がほとんどとなっています。表－2に、日本で発信されている主なハンドボールのホームページを持続先も含めて示します。内容は、大会情報や試合結果などですが、内容が更新される頻度もかなり高く、試合の写真なども含めて発信されていますので、内容はかなり充実したものになっていると思います。今後はホームページだけでなく、パソコン通信と同じような意見交換のできる場として、メイリングリストやネットニュースなどが立ち上がってくるものと考えています。

■海外からのハンドボールの情報

ここ1年で海外から発信されるハンドボールの情報も飛躍的に増えました。昨年5月にアイスランドで行われた男子世界選手権のホームページが発信されたときは、ハンドボールのホームページと言えば、両手で数えられるほどでしたが、現在はおそらく100を越える数になっているのではないかと思います。その中の代表的なホームページを表－3に示します。私は、アイスランドの男子世界選手権、昨年12月の女子世界選手権（オーストリア・ハンガリー）、今年6月の第2回男子ヨーロッパ選手権、アトランタオリンピックの試合結果などをホームページからほぼリアルタイムで入手しました。これなどは、自宅に居ながらにして世界の情報を入手できるわけで、インターネットの即時性の典型的な例だと思います。また、ヨーロッパ各国リーグの情報も発信されており、ブンデスリーガの試合結果は、毎週入手して、その結果を見て楽しんでおります。

■おわりに

日本でも、インターネットがかなり普及してきたとはいえ、誰もが容易に接続できる環境は、まだまだ整っているとは言えません。最近では、購入してすぐインターネットに接続できるパソコンも登場してきていますので、近い将来には、誰もが簡単に接続できる環境になるのではないかと期待しています。

表－3　海外のハンドボールサイト（ホームページ）の紹介

(1)ＩＨＦ（国際ハンドボール連盟）
http://www.wordsport.com/sports/handball/home.html

(2)スウェーデンハンドボール協会
hhttp://www.svenskidrott.se/handball/

(3)ドイツハンドボール協会
ナショナルチームの情報やブンデスリーガ等の試合結果。
http://www2.dhb.de/dhb/

(4)アメリカハンドボール協会
http://www.sport.ussa.edu/handball.htm

(5)アトランタオリンピック
アトランタ・オリンピックの公式サイト。大会情報から、試合結果まで。
http://www.atlanta.olympic.org/acog/sports/handball/d-HB-descr.html

(6)フィンランドのハンドボールの情報
ハンドボールサイトのリンクが充実している。
http://www.abo.fi/　jbacklun/handbeng.htm

(7)ブンデスリーガ（ドイツの１部リーグ）
男子チームの情報
THW　キール
http://www.comcity.de/provinzial/thw.htm
TV　ニーデルビュルズバッハ
http://www.sanet.de:80/TVN/
SCマグデブルグ
http://home.t-online.de/home/A.B.Ribbet-online.de/
TuS シュッタバルト
http://www.fh-offenburg.de/-tus/
SG　フレンスブルグ
http://www.sh-omnibus.de/omnibus/sgflha/sghand.htm
Bayer ドルマーゲン
http://www.Bayer.de/sport/frames/sd100000.htm

(8)ノルウェーの女子チームの情報
http://www.pvv.ntnu.no/-larsr/tertnes/tertnes.html
http://www.andiamo.no/bsk

(9)ハンガリーの女子チームの情報
http://ogyalla.konkoly.hu/staff/zsoldos/handball.html

もうご覧になりましたか？

スポーツ・アイ－ESPNのハンドボール番組

『エキサイティング・ハンドボール』

スポーツ・アイ－ESPNでは、今年5月に熊本で開催される世界選手権にむけて、昨年11月27日からハンドボールの番組をスタート致しました。そのタイトルは『エキサイティング・ハンドボール』。

番組では世界の一流プレーが見られる国際ゲーム（ヨーロッパ選手権／世界選手権の各地予選地）や、日本代表のヨーロッパ遠征試合などをお届けする予定です。また、番組内インフォメーションコーナーでは、5月の世界選手権に関する様々な情報や、日本代表の動向など、最新のニュースをお伝えします。

ハンドボールのルールやベーシックなプレーの解説のありますので、ハンドボールを始めたばかりの人にも役立つこと間違いなしです。

[2月の放送日時・内容]

2／5　20:30～21:30　'96年　ヨーロッパ選手権「3位決定戦」
2／12　〃　〃　「決勝戦」
2／19　〃　未定
2／26　〃　未定

…以降、5／7日まで毎週水曜日に放送していきます。
(注)放送時間は、編成の都合により前後することがあります。ご了承下さい。
なお、スポーツ・アイ－ESPNを観るには、

①ケーブルテレビ局に加入する
②PerfecTV！(パーフェクティービー)の受信機器を取り付ける

…のどちらかとなります。受信に関するお問い合わせや資料請求は、下記までお願いします。

スポーツ・アイ－ESPN　(tel.)03-5475-3344

2月の行事予定

●全日本実業団チャレンジ'97
2月9日～11日
大阪市中央体育館

●全日本男子チーム強化合宿
2月3日～14日
名古屋市・大同特殊鋼体育館
2月24日～3月7日
名古屋市・大同特殊鋼体育館

●全国理事会
2月8日　代々木第2体育館会議室

●全国評議員会
2月22日　日本青年館

インフォメーション

C級コーチ養成講習会
専門教科講習会について

日本体育協会と(財)日本ハンドボール協会共催で開催される公認コーチ養成講習会は受講者42名で開始されておりますが、平成8年度専門教科講習会についてご案内いたします。

[期日]平成9年2月21日(金)～26日(木)
5泊6日
[場所]国立オリンピック
記念青少年総合センター
〒151 東京都渋谷区代々木神園町
3番1号
[内容]専門教科内容の細部にわたってはまだ決定しておりませんので、その概要についてお知らせいたします。
ハンドボールの技術・戦術、体力、指導法に関する理論と実践

CONTENTS　2月号

新製品

高さ31m・7台×13層で91台。しかも高速入出庫。

OMRON

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』第三七一号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成九年一月二十六日 印刷
平成九年二月一日 発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表 三四八一－二三六一
振替 〇〇一二〇－七－一〇二九三
編集兼発行人 中澤重夫
価格は登録金に含む